



1991～1992

# 井上ガバナー公式訪問報告書

1991.9.18

Look Beyond Yourself

自分を超えた眼を

会長 木治屋 克 己

幹事 上 原 満

鹿児島西ロータリークラブ

# 鹿児島西ロータリークラブ

1963年(S38年)3月23日 創立(スポンサー 鹿児島RC)  
 1963年(S38年)6月27日 承認 第2730地区内では13番目

## 1) スポンサークラブ名と創立年月日

1. 加治木RC 1967年(S42年) 6月24日
2. 加世田RC 1972年(S47年) 10月18日
3. 枕崎RC 1972年(S47年) 12月4日
4. 鹿児島城西RC 1986年(S61年) 9月16日

## 2) 地区外ロータリークラブとの姉妹兄弟関係

1. 第2530地区 日本 鶴岡RC  
 = 1965年(S40年)5月9日締結  
 会員相互親善訪問, 週報等の交換
2. 第5130地区 米国カリフォルニア州 サンタローザ・サンライズRC  
 = 1989年(平成元年)4月29日締結  
 青少年交換事業

## 3) 提唱ローターアクトクラブ

名称: 鹿児島西ローターアクトクラブ 1976年(S51年)6月24日発会  
 例会日: 第1, 3木曜日  
 8月末会員数 男9名 女10名 計19名 \*9月に女性1名入会予定  
 (6月末会員数 男10名 女9名 計19名)  
 1979年(S54年)2月25日 唐津東ローターアクトクラブと姉妹盟約締結  
 \*来年3月の南分区内研修ではホストクラブです

## 4) 提唱インターアクトクラブ

1. 鶴丸高校IAC 発会日 1964年(S39年)10月8日  
 8月末会員数 男1名 女7名 計8名  
 (6月末会員数 男1名 女7名 計8名)
2. 鹿児島高校IAC 発会日 1971年(S46年)6月17日  
 8月末会員数 男9名 女8名 計17名  
 (6月末会員数 男8名 女8名 計16名)  
 \*最近の主な活動~甲突川クリーン作戦, 城山遊歩道清掃参加等.

## 5) ロータリー財団奨学生 (職業研修)

西クラブ推薦-外西会員顧問 中村 正弘  
 留学先 アメリカ Johns Hopkins University School of Medicine  
 平成3年7月~

## 6) ロータリー財団寄付関係

	合計寄付額(ドル)	会員1人当たり の寄付額(ドル)	クラブの%	創立以来の 累計寄付額(ドル)
1990年7/1		778.91	7700	66588.47
1990年7/1~91年6/30	10073.98	114.47	8900	76662.45
6/25, 6/28寄付分	2053.78	23.34	9100	78716.23
1991年7/1~8/31	2800.00	29.78	9400	81516.23

# 目 次

井上日出男ガバナー公式訪問日程 .....	1
クラブ協議会プログラム .....	2
委員会構成 .....	3
ガバナー挨拶 .....	4
1991～92年度RI第2730地区の概況 .....	6
R・I・第2730地区委員会組織図 .....	7
地区委員会組織図及び委員名 .....	8
会長報告 .....	10
幹事報告 .....	11
クラブ概況 .....	12
例会活動実績報告 .....	14
西ロータリークラブの推移 .....	16
会計報告 .....	18
クラブ奉仕委員会報告 .....	18
会員選考委員会報告 .....	19
出席委員会報告 .....	19
親睦委員会報告 .....	20
ロータリー情報委員会報告 .....	21
会報・雑誌委員会報告 .....	22
プログラム委員会報告 .....	22
広報委員会報告 .....	23
S・A・A報告 .....	24
職業奉仕委員会報告 .....	24
社会奉仕委員会報告 .....	25
青少年委員会報告 .....	26
インターアクト委員会報告 .....	26
ローターアクト委員会報告 .....	27
国際奉仕委員会報告 .....	29
ロータリー財団・米山奨学委員会報告 .....	30
30周年準備委員会 .....	30

(別 冊)

1991～92年度 クラブアッセンブリー

## 井上日出男ガバナー公式訪問日程

9月18日(水)

11:00～12:00 会長、幹事、会長エレクトとの協議会  
(山形屋7Fフェニックス)

12:30～13:30 例会(公式訪問) (山形屋7F社交室)  
例会終了後記念撮影

14:00～16:00 クラブ協議会 (山形屋7F社交室)

18:30～20:30 懇親会

# クラブ協議会プログラム

1991. 9. 18 於 山形屋

<p>点開 会 の 鐘                      ローターリーソン グ                      歓迎の辞及び                      ガバナー・分区代理 紹介                      ガバナー 挨拶                      会長 報告                      幹事 報告                      会計 報告                      クラブ奉仕委員会 報告                      会員選考 " "                      出席 席 " "                      親睦 " "                      ローターリー情報 " "                      会報・雑誌 " "                      プログラム " "                      広報 " "                      S・A・A 報告                      職業奉仕委員会 報告                      社会奉仕 " "                      青少年奉仕 " "                      インターアクト " "                      ローターアクト " "                      国際奉仕 " "                      ローターリー財団・米山奨学委員会報告                      30周年準備委員会                      講 会 の 評                      閉 会 の 辞                      点 鐘</p>	<p>副 会 長 岩 元 紀 彦                      (自分を超えた眼を)                      会 長 木 治 屋 克 己                      ガバナー 井 上 日 出 男                      会長 木 治 屋 克 己                      幹事 上 原 満                      会計 光 吉 正 昭                      副 会 員 岩 元 紀 彦                      委 員 外 西 寿 彦                      " 江 夏 洋                      " 竹 下 洋                      " 柿 市 高 重                      " 松 田 忠 臣                      " 石 神 兼 康                      " 中 村 善 治                      " 德 永 新 一 郎                      " 田 中 寛 吉                      " 竹 下 威                      " 柴 山 一 清                      " 高 山 義 則                      " 高 相 良 正 典                      " 野 添 良 隆                      " 岩 元 基                      " 小 園 正 人                      ガバナー 小 井 上 日 出 男                      一 事 上 原 満</p>
---	---

# 鹿児島西ロータリークラブ理事・役員・委員会構成

1991. 7 ~ 1992. 6

	会 長	木治屋 克己	副会長	岩元 紀彦
	幹 事	上原 満	副幹事	玉川 哲生
	理 事	田中 寛吉	S A A	徳永 新一郎
		竹下 威	副S A A	尾崎 義明
		柴山 一清		若園 博一
		野添 良隆	会 計	光吉 正昭

	委 員 会	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	クラブ奉仕	岩元 紀彦	岩男 秀彦	外西 寿彦・江夏 洋・竹下 洋 柿市 高重・松田 忠臣・石神 兼康 中村 善治
	会員選考	外西 寿彦	前田 樹一郎	池口 恵観・川村 洋・徳田 基 内山 光男
	出 席	江夏 洋	山下 和磨	榎田 浩典・長谷川 明・栗田 久聖 坂本 文俊
	親 睦	竹下 洋	川平 建次郎	江口 清隆・原田 隼男・平井 潔孝 菊野 晋次・松本 剛平・桜美 義明 三反田 藤男・下脇 二則・山下 皓三 津田 正宏・王 剡彬・石橋 恵二
	ロータリー情報	柿市 高重	永松 実夫	川上 鐵太郎・森永 茂樹・大迫 守弘 白濱 英美
	会報・雑誌	松田 忠臣	谷口 良康	林 其為・三角桂次郎・海江田 卓
	プログラム	石神 兼康	中尾 洋	岩田 泰一・片平 可也・水瀨 清治 太原 春雄
広 報	中村 善治	水流 洋	福田 敏之・佐伯 寿郎	
職 業 奉 仕	田中 寛吉	久野 洋一	福田 正臣・浜田 馨・平岡 禎吉 中尾 正昭・岡山 唯一	
社 会 奉 仕	竹下 威	村田 和雄	住吉 三滋・高井 敏治・中村 一雄 山田 晴彬	
青 少 年 奉 仕	青少年奉仕	柴山 一清	新川 靖博	池田 廣・山元 政明・福田 一郎
	インターアクト	高山 義則	古木 圭介	小山 幸義・宮脇真一郎・三井 賢二
	ローターアクト	相良 正典	須田 正己	黒木 幸一・中川 宏・田崎 一郎
国 際 奉 仕	野添 良隆	千原 昭義	川田 恵一・前田 隆造・徳澤 紀生	
ロータリー財団	岩元 基	小園 正人	崎元 行範・安田 正治・吉留 益	
ロータリー賞推薦	岩元 紀彦	竹下 威	野添 良隆・柴山 一清・田中 寛吉	

・RI第2730地区 インターアクト委員長 海江田 卓

## 就任のご挨拶

国際ロータリー第2730地区

ガバナー 井上 日出男

クラブ会長、幹事の皆さん、いよいよ私どもの年度が始まりました。クラブの皆様のたいなる信望にこたえて、この1年を1生のうちで最も輝かしい1年に致すべく、皆さん、夢を抱きましょう。その夢を実現すべく努力致しましょう。私たちが、受け継いだこの豊かな財産(クラブ)を、夢と力をもって、更に豊かに致しましょう。

R. I. 本年度のテーマは「自分を越えた眼を」でございます。これだけでは大変難解でございます。国際協議会での多くの方々のお話を参考に私なりの解釈をいたしますと、次のようになります。

私どもの心の表面に淀んでいる濁である自我——利己的な欲望、排他的な気持ち、無関心——そういうものを全て取り除いたとき、あなたは自分の心の深層に潜んでいる善意を見出すでしょう。その善意を行動に移したとき、あなたははじめて「自分を越えた眼を」持つことになるでしょう。まさに性善説に立脚した実践哲学のように私は考えます。

パウロ直前会長も申されました。ロータリアン、何と祝福されたものよ。本当に私どもは恵まれたものでございます。その恵まれた私どもが、世間様に何のお返しもしなくて良いのでしょうか。人間ただ生まれて、食べて、死ぬだけでは余りにも佻しく存じます。私どもが人間として生きてきた証は善意をもって人様のお役に立ってきたことだ、「自分を越えた眼を」持って行動できたことではないでしょうか。

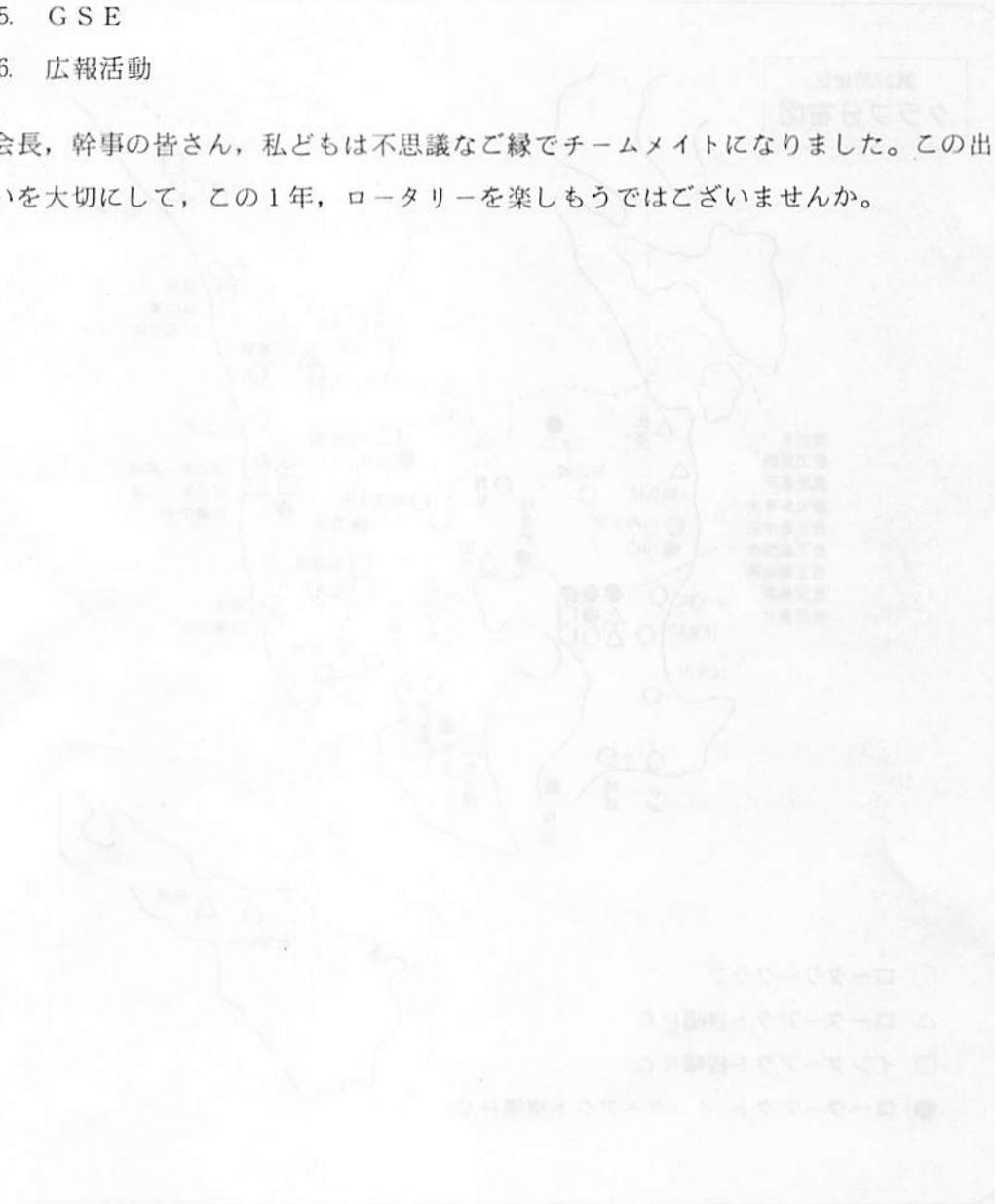
ラジャー会長は「本年度は会長賞プログラムは行ないません。他との競争を考えずに、以前より一層奉仕するよう努力して下さい。各クラブは、今年是非1つ新しいプロジェクトを行って下さい。会員のレベルや可能性を考慮したもので、どんな小さな奉仕活動でも結構です」と申されています。

「意義のある業績賞」は、例年同様優れたプロジェクトを実施したクラブに贈られます。

私は皆さんのクラブが四大奉仕部門において、均整のとれた活躍をなさるようお願い致します。強いて重点目標を選べば、次の6項目でございます。

1. 新クラブの結成と会員増強
2. 世界社会奉仕への試み
3. ロータリー財団への協力
4. 地球環境保全
5. GSE
6. 広報活動

会長、幹事の皆さん、私どもは不思議なご縁でチームメイトになりました。この出会いを大切に、この1年、ロータリーを楽しもうではございませんか。



1991～1992年度

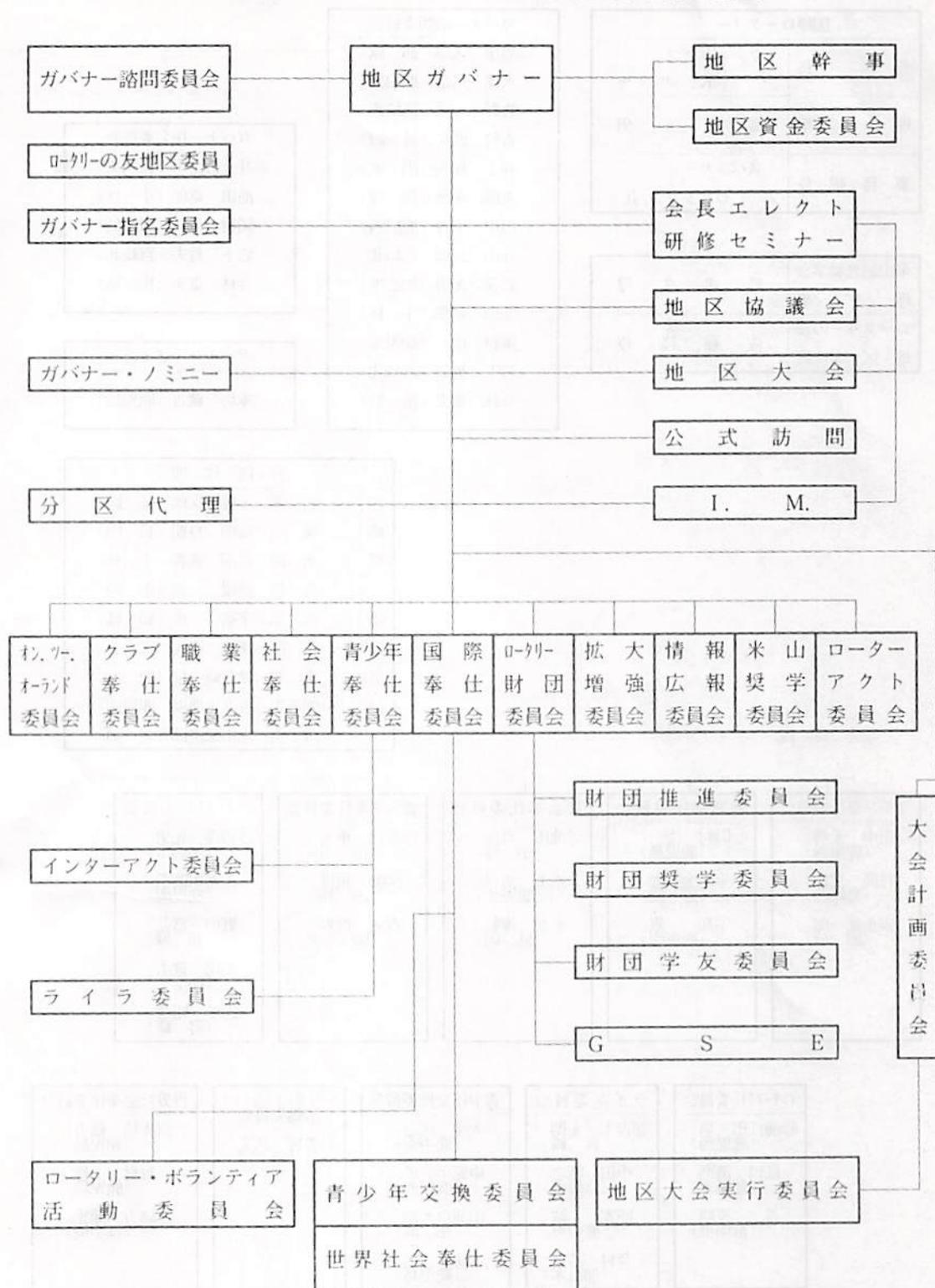
国際ロータリー第2730地区

## 地区の概況

ガバナー 井上 日出男



1991～1992年度 R. I. 第2730地区委員会組織図



1991～1992年度 国際ロータリー第2730地区 地区委員会組織図及び委員名

国際ロータリー	
会 長	ラジェンドラ. K. サブー
理 事	蔵 並 定 男
事 務 総 長	スペンサー ロビンソン, Jr.

米山記念奨学会 理 事	島 津 久 厚
ロータリーの友 地 区 委 員	佐 藤 隆 俊

ガバナー諮問委員会	
◎島津 久厚 (都 城)	
大津 篤造 (鹿中央)	
竹野 融 (宮崎西)	
吉村 武文 (延 岡)	
井上 和人 (出 水)	
丸田 美徳 (都 城)	
田中 千尋 (鹿屋西)	
外山 三郎 (宮崎北)	
岩澤 光男 (加治木)	
池田 卓郎 (小 林)	
岡村 俊一 (鹿児島)	
岩下 哲夫 (宮崎北)	
今林 重夫 (指 宿)	

ガバナー指名委員会	
◎井上日出男 (延岡東)	
池田 卓郎 (小 林)	
岡村 俊一 (鹿児島)	
岩下 哲夫 (宮崎北)	
今林 重夫 (指 宿)	

ガバナー・ノミネー	
本坊 蔵吉 (鹿児島)	

分 区 代 理	
宮 崎 県	北 部 平尾金次郎 (延 岡)
	中 部 福岡 良明 (日 南)
	南 部 花田 武義 (小 林)
鹿 児 島 県	北 部 新屋 貢 (川 内)
	西 部 宇宿 成 (穎 娃)
	中 部 伊達 孝美 (国 分)
	東 部 検見崎 郁 (鹿 屋)
	鹿市内 佐々木典綱 (鹿児島南)
	奄 美 内田栄次郎 (名 瀬)

◎委 員 長

クラブ奉仕委員会	
◎田中 千尋 (鹿屋西)	
日高 文雄 (宮崎西)	
吉永紘一 (国 分)	

職業奉仕委員会	
◎岡村 俊一 (鹿児島)	
平尾金次郎 (延 岡)	
宇都 巖 (鹿東南)	

社会奉仕委員会	
◎池田 卓郎 (小 林)	
水淵 清見 (鹿児島北)	
永友 俊彰 (延 岡)	

青少年奉仕委員会	
◎今林 重夫 (指 宿)	
区師 鎮雄 (西 都)	
森元 世界 (国 分)	

ロータリー委員会	
◎岩澤 光男 (加治木)	
佐々木典綱 (鹿児島南)	
野口 富弘 (都 城)	
馬場 健治 (加治木)	
志多 昭彦 (宮 崎)	

インターフェイス委員会	
◎海江田 卓 (鹿児島西)	
江口 清則 (都城北)	
谷 岑昭 (宮中央)	

ライラ委員会	
◎吉本 光朗 (宮 崎)	
小田 晴之 (宮崎南)	
四本 誠 (鹿中央)	
今村 清登 (加治木)	

青少年交換委員会	
◎大津 篤造 (鹿中央)	
中原平一郎 (鹿屋西)	
山浦良太郎 (都 城)	
本坊 吉朗 (鹿児島)	

ロータリーボランティア活動委員会	
◎吉村 武文 (延 岡)	

世界社会奉仕委員会	
◎本坊 蔵吉 (鹿児島)	
野村 稔 (鹿児島)	
緒方 節生 (延中央)	

ガバナー  
井上日出男 (延岡東)

地区資金委員会  
◎達富 脩 (延岡東)  
下川路秀彦 (指 宿)  
桑原 義和 (鹿児島)

地区幹事・副幹事  
◎野村順一郎 (延岡東)  
宇野 正晃 (延 岡)  
黒木 幹雄 (延中央)  
佐藤 隆俊 (延岡東)  
田島 滋巳 (延岡東)  
平方 宏幸 (延岡東)  
長渡 靖夫 (延岡東)  
新谷 博 (延岡東)

会長エレクト研修セミナー  
1991. 5. 11 (土)

地区協議会  
1991. 5. 12 (日)

公 式 訪 問  
1991. 7～11月初旬

地 区 大 会  
1991. 11. 9 (土) 10 (日)

I M

大会計画委員会  
◎井上日出男 (延岡東)  
岡村 俊一 (鹿児島)  
岩下 哲夫 (宮崎北)  
今林 重夫 (指 宿)  
伊藤 松尾 (延岡東)

国際奉仕委員会  
◎大津 篤造 (鹿中央)  
佐藤 孝城 (都 城)  
中原平一郎 (鹿屋西)

0-1列 財団委員会  
◎井上 和人 (出水)  
丸田 美徳城 (都 城)  
岡村 俊一 (鹿児島)  
今林 重夫 (指 宿)

米山奨学委員会  
◎菅 健志 (鹿中央)  
大津 篤造 (鹿中央)  
長友 大 (宮崎北)

拡大増強委員会  
◎岩下 哲夫 (宮崎北)  
松本 広行 (宮崎西)  
新平 重人 (串 良)  
河原 敏雄 (延岡東)

情報広報委員会  
◎外山 三郎 (宮崎北)  
永里 紘一 (鹿東南)  
赤崎 正人 (宮中央)  
大坪 和島 (霧 島)

サ・ブ・オーラフ  
委 員 会  
◎井上日出男 (延岡東)

財団推進委員会  
◎丸田 美徳城 (都 城)  
中村 清春 (都 城)

財団奨学委員会  
◎井上 和人 (出水)  
貴島 清文 (鹿児島)  
坂口 三郎 (都 城)

財団学友委員会  
◎丸田 美徳城 (都 城)  
中村 清春 (都 城)  
押領司親正 (延岡東)

G S E 委 員 会  
◎岡村 俊一 (鹿児島)  
岩下 哲夫 (宮崎北)  
貴島 清文 (鹿児島)  
内田 平 (加治木)  
原田 大郎 (宮崎北)

地区大会実行委員会  
◎伊藤 松尾 (延岡東)  
川添 利明 (延岡北)  
森 正夫 (延中央)  
金子 正 (延岡東)  
野村 順一郎 (延岡東)

## 会 長 報 告

会 長 木治屋 克 己

本日、第2730地区・井上日出男ガバナーを鹿児島西ロータリークラブにお招きしてクラブ協議会を開きますことは、我々会員一同にとりまして光栄かつ喜びに耐えないところであります。

新ロータリー年度発足より二ヶ月、西クラブ会長としては、何分にも浅学非才の身であり会員各位の友情とご協力を得て微力ながら最善を尽くすつもりでございます。

本年度のクラブ活動方針としては、R. I会長、ラジェンドラ・K. サブー氏のテーマ『自分を越えた眼を“Look Beyond Yourself”』にそって四大奉仕部門の活動強化に努めると共に、井上日出男ガバナーの提唱される、“人間の人間たる証を求めて、単なるクラブ会員でなく誇り高きロータリアンとして奉仕の理想実現”のため努力いたしたいと思ひます。

クラブ活動の駆動力、中でも親睦、出席、会員増強に力を入れ若い年代層の加入促進をはかり、更に継続プログラムとして環境保全問題にも積極的に取り組んでいるところでございます。

次に我クラブは、歴代、青少年育成問題や国際交流に大きな実績をあげてきました。すでにサンタローザ友好協会の交換学生プログラムへの参加協力、併せて姉妹クラブ・サンライズRC会員との国際親善を、委員長はじめ会員の皆さんと和やかに楽しく実施することが出来ました。この8月2, 3, 4日都市市におけるインターアクト年次大会も各地区のロータリアン、地区委員長ご指導のもと意義深く盛会に終了いたしました。

各委員会活動につきましては委員長よりご報告申し上げますが、来年度は創立30周年にも当たり特別委員会と、新しいプロジェクト委員会も準備すべく、目下検討致しております。

本日の協議会におきまして、井上日出男ガバナー及びご同行の佐々木典綱・市内分区代理より本西クラブ奉仕活動につきまして、忌憚ないご指導ご助言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

# 幹 事 報 告

幹 事 上 原 満

新年度がはじまり、はや2ヶ月余りが過ぎたようです。会長の指導、会員の皆様のご協力により本日を迎える事が出来ました。2ヶ月間の実績は各委員会の報告書の通りです。残りの10ヶ月間は木治屋会長の運営方針に基づき、実務責任者として下記事項を実施してまいりたいと思います。

## 記

1. 例会場の雰囲気盛りあげながら親睦を深め、出席率の向上と会員増強に結びつける。
2. 学習会を通じて教育、情報広報活動の充実を計る。
3. ロータリー財団・米山財団への寄附アップ。

以上微力ながらベストを尽くしてまいりたいと思いますので会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げ報告とさせていただきます。

## ク ラ ブ 概 況 報 告

(平成3年8月31日現在)

1. 創 立 年 月 日 昭和38年3月23日
2. 承 認 年 月 日 昭和38年6月27日(九州において第28番目)
3. チャーターナイト 昭和38年11月20日
4. 当時のR・I会長 ニッチシ・P・ラハリー(インド)
5. 当時のガバナー 進 藤 誠 一(第370地区)
6. スポンサークラブ 鹿児島ロータリークラブ
7. チャーターメンバー 24名(その内現在会員2名)
8. 区 域 鹿児島市中央部を貫通する甲突川上流の玉江橋から下流へー西田橋ー高麗橋に至り西へ高麗町本通りー大学通りー中郡電停ー更に電車路線に沿い鴨池公園南角に至り西へ谷山街道を経て宇宿町へ至る鹿児島市西方区域。(但し、旧谷山市に属する区域を除く)
9. 事 務 所 鹿児島市金生町3番1号山形屋内(0992-23-5902)
10. 例 会 日 毎週水曜日12時30分～13時30分
11. 例 会 場 山形屋1号館7階社交室
12. 歴 代 会 長 16ページ
13. 歴 代 幹 事 17ページ
14. 現 在 会 員 正会員 55名  
アデイショナル正会員 0名  
シニア・アクティブ会員 39名  
計 94名  
(入退会者数 入会者 5名)  
退会者 0名)

15. 平均年齢 57.49才

最高 87才 最低 37才

80代 2名 70代 14名

60代 21名 50代 35名

40代 20名 30代 2名

16. 出席率 92.51%(7・8月分)

17. 入会金 35,000円

18. 年会金 170,000円

19. ビジター会費 1,900円

20. 会誌 毎週週報を発行

21. ロータリアン誌 1名

22. クラブ協議会 9回(あと7回以上)

23. クラブフォーラム 6回(あと5回以上)

24. インフォーマルミーティング 2回(あと1回以上)

25. 理事会 定例……毎月第2例会日

臨時……必要に応じ随時

26. 委員長会議 4回(あと3回以上)

27. 会長幹事会 市内……8回(あと7回)

## 1991年7月～8月例会活動実績

7 月	3	「クラブ協議会」(活動方針及び計画)
	10	「クラブ協議会」(決算報告, 予算審議)
	17	「インフォーマルミーティング」(自分を越えた眼を)
	24	「サンタローザ交換学生を迎えての参陸会」 於：鶴鳴館別館, 鶴家
	31	「1ヶ月を振りかえって」
8 月	7	「自分を越えた眼を」 会 員 平 岡 禎 吉 君
	14	定款第4条第1節の規定により休会
	21	「クラブフォーラム」(青少年奉仕委員会)
	28	「菩提樹 <small>ぼだいじゆ</small> の森を 鹿児島につくろう」 木 場 隆 亮 殿

### 〈 諸 会 議 〉

日 時	会 議 名	場 所	内 容
7/3(水)	臨 時 理 事 会		1.退会届出の件 2.新入会員選考の件 3.1991～92年度収支予算審議の件 4.事務局FAX購入の件
8(月)	第 1 5 5 回 学 習 会	ワシントン ホ テ ル	新年度のスタートにあたって テーマ; 「Look Beyond Yourself」 「自分を越えた眼を」について
10(水)	定 例 理 事 会		1.クラブ奉仕委員長, 副委員長空席の件 2.雲仙災害義援金の件

日 時	会 議 名	場 所	内 容
7/10(水)			3. 1991～92年度収支予算書の内訳 4. 空欄の委員会への充填の件
14(日)	鹿児島県R 情報・広報委員長会議	サンロイヤル ホ テ ル	合同広報活動に関する件
19(金)	国際奉仕委員会	山 形 屋	G. S. E受入について
20(土)	鹿児島県R 社会奉仕委員長会議	サンロイヤル ホ テ ル	各クラブにおける奉仕活動の実施計画について
21(日)	インターアクト委員会	鹿児島高校	インターアクト鹿児島県連絡協議会例会開催に ついて
31(水)	臨 時 理 事 会		1. 広報委員会、ラジオを通じて広くロータリー を理解してもらう件 2. 国際奉仕委員会（G. S. E受入れの件） 3. サンタローザと西クラブの交換学生の件
8/2(金) 4(日)	インターアクト 第27回年次大会	都 城	テーマ；「輪を広げようインターアクト」
12(月)	第156回学習会	ワシントン ホ テ ル	テーマ；「“情報と広報”」
17(土)	ロータリー財団セミナー	宮 崎	1. R財団の歴史 2. クラブに於けるR財団委員会の活動 3. シェアーステムについて
18(日)	鹿児島県R ローターアクト委員会	ホテルニュー カゴシマ	1. 現状報告 2. 今後の拡大増強の件
21(水)	定 例 理 事 会	レクストン イン鹿児島	1. ガバナー公式訪問時の記念品の件 2. ガバナー訪問時協議会終了後の懇親会の件 3. 職業奉仕委員会、職場訪問の件 4. 社会奉仕委員会、環境保全問題講演会の件 5. 新入会員選考の件 6. 国際奉仕委員会 サンタローザ、サンライズRC訪問の件
28(水)	クラブ奉仕委員長会議		1. クラブ奉仕副委員長承認の件 2. 次期委員長会議開催の件(9/4例会終了後)
30(金)	会 長 ・ 幹 事 会	東急ホテル	(鹿児島市内)

## 西ロータリークラブの推移

昭和	西 暦	ガバナー			会 長		
					初代	桜美四郎	土橋英夫
38~39	1963~64	嘉村平八	町田秀実	2代	島田久厚	4代	米倉秀夫
39~40	1964~65	島田久厚	吉村常助	5代	向笠広次	6代	島津忠丸
40~41	1965~66	吉村常助	向笠広次	7代	大津鷹造	8代	鮫島志芽太
41~42	1966~67	向笠広次	大津鷹造	9代	日高安壮	10代	佐伯延次郎
42~43	1967~68	大津鷹造	日高安壮	11代	八田秋	12代	久保田彦保
43~44	1968~69	日高安壮	八田秋	13代	小田一昭	14代	岩元正二
44~45	1969~70	小田一昭	東博仁	15代	東博仁	16代	牧田健二
45~46	1970~71	東博仁	杉野頼三	17代	杉野頼三	18代	川村洋
46~47	1971~72	杉野頼三	竹野融	19代	竹野融	20代	新福栄熊
47~48	1972~73	竹野融	後藤基彰	21代	後藤基彰	22代	福田敏之
48~49	1973~74	後藤基彰	塘 一 郎	23代	塘 一 郎	24代	岡村健一郎
49~50	1974~75	塘 一 郎	西田武雄	25代	西田武雄	26代	河井時義
50~51	1975~76	西田武雄	吉村武文	27代	吉村武文	28代	藤安辰造
51~52	1976~77	吉村武文	井上和人	29代	井上和人	30代	川上鐵太郎
52~53	1977~78	井上和人	福島親比古	31代	福島親比古	32代	浜田馨
53~54	1978~79	福島親比古	大久保一 郎	33代	大久保一 郎	34代	中村俊雄
54~55	1979~80	大久保一 郎	杉村進	35代	杉村進	36代	久保政次
55~56	1980~81	杉村進	丸田美德	37代	丸田美德	38代	高井敏治
56~57	1981~82	丸田美德	田中千尋	39代	田中千尋	40代	池田廣
57~58	1982~83	田中千尋	外山三郎	41代	外山三郎	42代	福田正臣
58~59	1983~84	外山三郎	岩澤光男	43代	岩澤光男	44代	中村善治
59~60	1984~85	岩澤光男	池田卓郎	45代	池田卓郎	46代	小園正人
60~61	1985~86	池田卓郎	岡村俊一	47代	岡村俊一	48代	外西寿彦
61~62	1986~87	岡村俊一	岩下哲夫	49代	岩下哲夫	50代	三角桂次郎
62~63	1987~88	岩下哲夫	今林重夫	51代	今林重夫	52代	川田惠一
63~64	1988~89	今林重夫	井上日出男	53代	井上日出男	54代	木治屋克己
H1~H2	1989~90	井上日出男					
H2~H3	1990~91						
H3~H4	1991~92						

### ○ チャーターメンバー

安 楽 慶一郎	福 井 浩	船 木 潔	堀 俊 一
犬 伏 康 夫	岩 元 健 吉	岩 元 正 二	河 井 時 義
川 村 洋	小 山 幸 義	倉 園 清 一	黒 山 長 太 郎
牧 田 健 二	松 元 明 人	大 小 田 友 一	大 山 実 丸
西 郷 隆 永	桜 美 四 郎	柴 山 一 雄	大 島 津 忠 丸
田 原 誠 助	塘 一 郎	土 橋 英 夫	米 倉 秀 雄
			計 24名

(歴代会長並びに幹事)

幹 事	会員数	平均年齢	平均出席率	その他区順位
川 村 洋	35名	50.0才	99.18%	9
高 徳 三 蔵	44	49.0	99.11	9
河 井 時 義	48	51.40	99.09	8
藤 安 辰 造	46	52.70	98.81	
安 楽 慶 一郎	55	53.30	99.79	9
柴 山 一 雄	58	53.00	99.92	4
高 井 敏 治	61	52.80	99.92	6
久 保 政 次	65	52.60	98.83	9
田 平 禮 章	73	53.19	99.01	5
浜 田 馨	79	52.09	98.14	10
外 西 寿 彦	75	54.30	98.73	9
小 山 幸 義	79	53.80	97.91	9
池 田 廣	85	54.60	97.63	10
中 村 善 治	86	55.70	95.49	
小 園 正 人	90	57.10	96.52	
三 角 桂 次郎	87	56.45	96.59	
川 田 恵 一	88	57.25	96.92	
光 吉 正 昭	87	57.47	97.07	
徳 澤 紀 生	86	57.58	96.22	
水 淵 清 治	89	57.02	93.96	
木 治 屋 克 己	85	57.18	93.75	
柿 市 高 重	81	58.27	92.05	
山 下 皓 三	86	58.23	93.31	
中 尾 洋	85	57.63	95.36	
桜 美 義 明	89	58.10	94.74	
岩 元 基	91	58.05	94.06	
古 木 圭 介	90	57.97	93.21	
内 山 光 男	94	57.72	91.68	
上 原 満	94	57.49	92.51 (7.8月)	

○ マルチプル・フェロー 故(柴山一雄)

○ ボールハリス・フェロー

故(塘一郎) 池田廣 柿市高重 故(柴山一雄) (藤安辰造)  
 池口恵観 故(牧田健二) (河井時義) 川村洋 故(土橋滋)  
 福田敏之 川上鐵太郎 川田恵一 徳澤紀生 故(海老原利則)  
 有馬志享 小園正人 岩元紀彦 村田和雄 高井敏治  
 以上 20名

○ ボールハリス準フェロー

故(桜美四郎) 故(岩元健吉) (岩元正二) 故(岡山栄) (池田穰)  
 故(永井利承) 浜田馨 外西寿彦 中村善治  
 古木圭介 光吉正昭 桜美義明 内山光男 岩元基  
 木治屋克己 林其為 太原春雄 山下皓三 玉川哲生  
 上原満 前田樹一郎 三反田藤男 竹下威 高山義則  
 榎田浩典 須田正己 江夏洋 柴山一清 久野洋一  
 以上 29名

## 会 計 報 告

会 計 光 吉 正 昭

### 基本方針及び計画

1. 全資産の保管，記帳，資金の収支について年1回，又は理事会の要請があればその都度説明する。
2. 本クラブの会計事務は年1回，公認会計士の監査を受ける。

## ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委員長 岩 元 紀 彦

委 員 ㊦岩男 秀彦・外西 寿彦・江夏 洋  
 竹下 洋・柿市 高重・松田 忠臣  
 石神 兼康・中村 善治

### 基 本 方 針

ロータリーの例会はクラブ会員の人づくりの場であり，奉仕の心を学びとる場であるという精神を最重点に考える。

それだけに例会出席，メイクアップを極力指導すると共に，例会を意義ある集いにすることに配慮する。

### 本 年 度 の 計 画

1. 例会を充実させることに努める。
  - イ. SAA
  - ロ. プログラム
2. クラブ奉仕部門委員長と運営の話し合いを多く持つ。  
 三ヶ月に一回合同委員会を開き例会運営等につき意見を聞く。

## 会 員 選 考 委 員 会

---

委員長 外 西 寿 彦

委 員 ㊦前田樹一郎・池口 恵観・内山 光男  
徳田 基・川村 洋

### 基 本 方 針

1. クラブの活力の向上，繁栄に寄与できるような比較的若い力を導入したい。
2. 会員増強に全会員の積極的な協力を望みたい。

### 本 年 度 の 計 画

1. 退会を見込んで，10%程度の増強をはかりたい。
2. 未充填の職業分類に適格な会員候補者を推せんしたい。
3. 今期に入り，既に5名の新入会員があった。

## 出 席 委 員 会

---

委員長 江 夏 洋

委 員 ㊦山下 和磨・榎田 浩典・長谷川 明  
栗田 久聖・坂本 文俊

### 基 本 方 針

例会に出席する事が義務であり，出席する事が奉仕への出発点でもあります。皆様の理解と認識を深め，なるべく欠席を無くす様努力する。

### 本 年 度 の 計 画

1. 連続出席 100 %を作る様努力する。
2. 例会の出席が出来ない場合，必ずメーカーキャップをお願いして出席率 100 %達成を目標に努力する。
3. 新入会員の出席奨励をする。
4. 連続出席 100 %出席者に対して記念品を贈呈する。

## 親 睦 委 員 会

委員長 竹 下 洋

委員 ①川平建次郎・江口 清隆・原田 隼男

平井 潔孝・菊野 晋次・松本 剛平

桜美 義明・三反田藤男・下脇 二則

山下 皓三・津田 正宏・王 剡彬

石橋 恵二

### 基 本 方 針

親睦は、「友情を深め心の友を求めて心を見がき合うこと」でありますので、心を求めて出席することから始まります。

会員が出席しやすい環境を他の委員会と連絡を取り合って作っていかうと思います。

### 本 年 度 の 計 画

1. 参睦会の実施
2. 観月会の実施
3. クリスマス家族会の実施
4. 有志によるゴルフコンペの実施 等を

西クラブの伝統を大事にして進めるように努力します。尚、7/24に、サンタローザ派遣学生10名と引率ロータリアン2名の歓迎会を兼ねて第1回参睦会を実施したところ、アメリカの方々に大変好評でした。

## ロータリー情報委員会

委員長 柿市高重

委員 ㊦永松実夫・川上鐵太郎・森永茂樹

大迫守弘・白濱英美

### 〔I〕委員会

- 第1回(7/3, 例会後)

学習会予定表作製

- 第2回(8/7, 例会後)

新入会員教育プログラム作製

上半期は10/2, 例会終了後実施予定

### 〔II〕学習会

- ① 第155回(7/8, 18:30~20:30, ワシントンホテル)

テーマ: 「自分を越えた眼を」

担当: 木治屋会長

出席者: 14名

- ② 第156回(8/12, 18:30~20:30, ワシントンホテル)

テーマ: 「情報と広報」

担当: 白濱情報委員

出席者: 19名

### 〔III〕1991~'92 テーマソングについて

- ① 7/3: テープ(英語), 譜面(英文, 和文)ガバナー事務所より送付して頂く。
- ② 7/10: 住吉三滋会員に日本語吹込依頼
  - 7/20吹込終了
  - ダビング10本作製済(有馬志享先生)
- ③ 7/21: 小山幸義会員をリーダーとする, 会員10名にテープ譜面配布済
- ④ 8/21: 本日より住吉会員による毎例会3分間練習開始

## 会報・雑誌委員会

委員長 松田 忠臣

委員 谷口 良康・林 其為・三角桂次郎

海江田 卓

### 基本方針

会報により、会員の関心を促し出席率を高め、親睦の増進及び会員のロータリー教育に寄与するよう努める。

### 本年度の計画

1. 会報には諸会合のハイライトを数多く記載し、情報伝達的手段として活用する。
2. 会員の自由な意見・随想等の投稿をお願いすると共に、会員の動向、近況等についても会報に収録し、親睦を深めるとともに「読みたい」という意欲増進をはかる。
3. 「ロータリーの友」の精読を勧め、ロータリー精神の理解と高揚に資する。
4. 「会報」「ロータリーの友」をロータリアン以外の人々に継続寄贈する。

## プログラム委員会

委員長 石神 兼康

委員 中尾 洋・岩田 泰一・片平 可也

太原 春雄・水濁 清治

### 基本方針

今年度R・I.のテーマである“自分を越えた眼を”の精神をふまえ、人類の、そしてあらゆる生物を育んでくれる地球の永遠の生命を願って、ロータリークラブの使命を追求するようなプログラムを組みたいと思っています。

### 本年度の計画

1. 卓話は西ロータリーの会員を主に、他の市内ロータリークラブ会員にも卓話を

願います。

2. ニュースの情報源であるマスコミの現場責任者の話をできるだけ多く持つようにしたい。
3. 奉仕の仕事をしている女性卓話者の開発をしたい。
4. 会員各位に情報提供をお願いしたい。

## 広 報 委 員 会

委員長 中 村 善 治

委 員 ㊟水流 洋・福田 敏之・佐伯 寿郎

### 活 動 報 告

1. 地区よりの新提案
  - 7月14日(日) 地区情報広報委員長, 外山パストガバナーが来鹿され, 一般のロータリーに関する認識は極めて乏しいと痛感させられている。そこでロータリーを正しく理解して貰い, またロータリーの輪を拡げていくため, 地区に於いて検討を重ねた結果, 1クラブでの広報活動には限界があることから, 最も効果的であるとの結論でラジオによる広報を行いたい, ついては本年度会員1人あたり1,000円を地区委員会に抛出して欲しいとの提案があった。
  - 本件はその後地区より, 各クラブ会長宛公式文書で再度要請があり, クラブ協議会で協議され, 賛同することに決定。
2. 鹿児島市分区の9クラブは, 前半に広報委員長会議を持つこと, 分区代理にも出席していただけること, 何れかの時機に9クラブ合同で, 報導機関との懇談を実施することの了解を取りつゝある。

## S . A . A

委員長 徳 永 新一郎

委員 ㊟尾崎 義明・若園 博一

### 基本方針

1. 厳しい中に、明るい雰囲気を作る。
2. ゲスト、ビジターの席及び配膳への配慮
3. 例会の座席への配慮

1, 2, 3の方針通り進めていますが、今年度は例会出席がかなり多く、例会の座席を増やす状態で大変喜ばしい事と感謝している次第です。

### 本年度の計画

1. 常に率先して会場、雰囲気、バックミュージック等、他クラブにない特徴を出す様心掛け、又クラブ全員に好かれるSAAとする。
2. 親睦委員会と連携を保ち、新入会員にも配慮をし、一日でも早くクラブに馴染んで貰う。
3. 会場での私語には、特に注意を払う。

1, 2, 3の条項に依り進行しているが、特に会場での私語が殆んど無くなった様に思う。

## 職業奉仕委員会

委員長 田 中 寛 吉

委員 ㊟久野 洋一・岡山 唯一・中尾 正昭

浜田 馨・平岡 禎吉・福田 正臣

### 基本方針

職業奉仕は1987年のR I 理事会の新方針に従いクラブと会員の共同活動で奉仕の理想を実行に示し普及させることを奨励する。

## 本年度の計画

1. 前年度事業を継続する。
2. 職場訪問 10月初旬予定  
会員の方のご推薦がございましたら、よろしくお願い致します。
3. 10月職業奉仕月間には、新入会員にスピーチで貴方がこれまでにこなして来た地域社会へのサービス、又はこれからやってみたいと思っている職業奉仕について話してもらう。

## 社会奉仕委員会

委員長 竹下 威

委員 ㊟村田 和雄・住吉 三滋・高井 敏治

中村 一雄・山田 晴彬

## 基本方針

1. 地域社会が真に必要としている事柄が何かを調査検討し、地域社会の協力、理解を得て、その地域に密着した奉仕活動を行う。
2. 会員の協力を得て、その職業的知識と経験を生かした奉仕活動を行う。
3. 地域環境保全運動について、地道な奉仕活動を実践する。

## 本年度の計画

1. 隠れた社会奉仕実践者に対して毎年贈っている「ロータリー賞」を継続実施する。
2. 県立図書館の「鹿児島西ロータリークラブ青少年文庫」に追加献本する。
3. 青少年健全育成を目的とする「鹿児島西ロータリークラブ友愛文庫」の図書贈呈を継続して実施する。
4. 高齢者に対する保健衛生相談、家族問題、法律問題の相談等を開設する。
5. 地球環境保全運動に関連する講演会を前年度に引続き実施する。
6. 社会福祉施設の訪問と音楽会の開催
7. ローターアクト会員と協力して、毎月一回西鹿児島駅前の清掃を行い、環境の美化にとりくむ。
8. 会員並びに会員の職場での献血を実践する。

## 青少年奉仕委員会

委員長 柴山 一 清

委員 ㊦新川 靖博・池田 廣・山元 政明  
福田 一郎

### 基本方針

1. 青少年奉仕活動を通して地域社会への奉仕
2. 青少年の国際的視野を養う
3. 青少年活動に積極的に関心を持つ

### 本年度の計画

1. インターアクト・ローターアクトの内容の見直しと会員の増強
2. ロータリアンのインターアクト、ローターアクト例会への積極的な参加
3. インターアクト・ローターアクトの活動の助成援助

## インターアクト委員会

委員長 高山 義 則

委員 ㊦古木 圭介・小山 幸義・宮脇真一郎  
三井 賢二

### 基本方針

1. 鹿児島高等学校と鶴丸高等学校のIAC会員及び指導の先生との触れ合いの機会を多く持ちながら、IACの相互理解を深める。
2. IACの国際親善活動の一環として鹿児島在留の留学生とIAC会員との交流の場を設け、相互理解を深める。
3. IACの本質を理解し、会員増強を促進する。

### 本年度の計画

1. IAC会員及び指導者との懇談会

- インターアクト鹿児島県連絡協議会が7月12日(土)鹿児島高等学校で行われ、年次大会とインターアクト運営について各学校指導先生との懇談を行い、委員長参加。
- 両校を訪問し、校長・指導先生と会い、IACの活動、現況と協力方を懇談
- 2. 年次大会への協力、援助
  - 第27回、2730地区インターアクト年次大会が8月2日(金)より4日(日)の3日間、都城市コミュニティセンターで開催された。
  - 本年度の大会テーマは“輪を広げようインターアクト”で都城北ロータリークラブホストのもと、好天に恵まれ、大成功に終了した。参加校20校、参加者IAC会員220名、指導教諭25名、当西クラブからは鹿児島高校IAC会員9名、指導教諭2名、ロータリアンは会長、幹事、青少年奉仕委員長はじめ5名参加した。鶴丸高校は学校補習のため不参加。
- 3. IAC会員の増強に協力
  - 検討中①進学、就職についての座談会を行う予定 ②……
- 4. IAC活動の高揚と協力
  - 姉妹クラブ・サンライズRC(米国)からのサンタローザ交換学生10名を迎えたので当クラブの歓迎会に両高校の校長・指導教諭の参加を得、また国際奉仕委員会の協力を得て、一日バス旅行(7月28日(日))にIAC会員6名(鹿児島高校4名、鶴丸高校2名)の参加が出来た。

## ローターアクト委員会

委員長 相良正典

委員 須田正己・黒木幸一・田崎一郎

中川 宏

### 基本方針

1. 地域に密着した社会奉仕を推進する。
2. ローターアクトの活性化をはかり、その自主性を尊重しながら適切な助言指導協力を行う。
3. ローターアクト会員の増強につとめる。
4. できるだけ多くのロータリアンに、アクトの例会に出席するよう協力を求める。

### 本年度の計画

1. ローターアクトの海外研修への参加
2. 社会奉仕、朝の清掃（月1回、西鹿児島駅前）、愛の聖母園の訪問等を本年度も継続して行う。
3. ローターアクト会員の増強を図るための対策を検討する。
4. 月1回ロータリーの例会にローターアクトの近況報告パンフレットを配布

### 活動情況報告

1. 西鹿児島駅前広場の清掃を、ローターアクトクラブ設立以来、毎月第一日曜日早朝に開催している。平成3年6月にて15周年を経過し継続して行く。RAC会員及びOBがRC社会奉仕委員会の協力を得て実施している。清掃終了後RAC会員は福祉施設「愛の聖母園」を訪問し、乳幼児の慰問に当たっている。
2. 2730地区RCローターアクト委員長会議が8月18日開催されました。各クラブの活動状況や問題等を話し合い、大変有意義でした。
3. 韓国への海外研修旅行（8月24日から8月27日に亘り実施）には、RAC会員2名が参加した。9月11日のRC例会に参加者から感想を交えて研修結果の報告が成された。
4. 8月24日、25日は姉妹ローターアクトクラブの唐津東ローターアクトクラブと交流が行われた。

5. 前年度に引き続き環境美化の為リングプル収集の運動は継続し各事業、清掃時に呼び掛けを行う。
6. RACの会員は8月末にて19名、今後とも会員の拡大の為に魅力あるプログラムと運営に心掛けます。RAC, OB, ロータリアンが一丸となって会員の増強に努力しています。
7. 本年度は特別な周年事業はありませんが、まんねりにならないようにロータリアンのRACへの積極的な参加をいただき卓話や感想や事業を通じてアクターとのふれあいが深まるよう努力して参ります。

## 国際奉仕委員会

委員長 野添良隆

委員 ㊦千原 昭義・川田 恵一・前田 隆造

徳澤 紀生

### 基本方針

国際奉仕の基本方針である国際理解、国際親善、世界平和の目的推進の為に寄与できるよう、本クラブ会員の理解と協力及び参加をお願いする。

### 本年度の計画

1. 7月21日から8月5日まで来日したサンタローザ交換学生を、ホームステイし、来日したメンバー全員(12名)を、クラブ会合、参睦会に招待して交流を深めた。
2. サンライズRCとの交流、1992. 5月頃予定。
3. ロータリアン個人、クラブとして出来る国際奉仕についてその方法と可能性を検討する。  
サンタローザ交換学生の行事にロータリアン、インターアクト学生の多数の参加がありました。
4. 11月11日～16日のGSEについては、西クラブでも1名ホスト致します。

## ロータリー財団・米山奨学委員会

委員長 岩元 基

委員 小園 正人・崎元 行範・安田 正治  
吉留 益

### 基本方針

ロータリー財団及び米山奨学会の趣旨と現状を会員によく理解してもらうとともに、諸種のロータリー財団プログラム、米山奨学会の活動への援助をする。

### 本年度の計画

1. ロータリー財団に関する広報活動を行う。
2. ロータリー財団奨学生の推薦を行う。
3. ロータリー財団基金の支払として
  - イ) 昨年度ポールハリスフェロー6名、準フェロー20名、計26名が誕生した。本年度すでにフェロー3名(木治屋 克己, 上原 満, 片平 可也会員)の申込があるが、昨年並の実績を挙げる様努力したい。
  - ロ) 年に数回百万ドル食事を実施する。
  - ハ) グリーンボックス等により財団への募金をつのる。

## 30周年準備委員会

委員長 小園 正人

